

# 総合型地域スポーツクラブとの連携プロジェクトでのマネジメント実践

団体名●地域スポーツマネジメント研究室(西村ゼミナール)／代表者名●西村貴之(人間科学部スポーツ学科・教授)

## はじめに

総合型地域スポーツクラブ(以下「総合型クラブ」)は地域のニーズや実情に即応し、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブである。総合型クラブには「新しい公共」の担い手として、地域が抱える社会的課題を多様な組織、団体との連携・協働によって解決していくことが期待されている。一方でスポーツ庁の調査結果では「クラブ運営を担う人材の世代交代・後継者確保」を課題としている総合型クラブが多く、若手人材の発掘や育成が喫緊の課題となっている。筆者が担当する地域スポーツマネジメント研究室は、“スポーツで人と地域を幸せにする”を理念に掲げ、行政、NPO法人、地域スポーツクラブ、プロスポーツクラブ、企業、まちづくり団体などとの連携プロジェクトを実施し、にぎわいの創出、課題解決といった地域活性化の担い手となる、「地域スポーツマネジメント人材」の育成をめざしている。

## 活動内容

以下では総合型クラブと本研究室とが連携した5つのプロジェクトを紹介する。

### (1) NPO法人クラブぽっと(金沢市)との連携プロジェクト

日程：2022年4月24日(日)

場所：金沢市医王山地区の田んぼ

参加：イベント参加者30名、地域関係者10名  
本学学生8名

内容：NPO法人クラブぽっとの主催イベントである「泥んこ運動会2022」に運営サポートスタッフとして学生が参画した。スポーツを用いて地域の資源を活用し、地域の課題解決を目指すイベントがどのような人々に支えられ、その場が形成されているかについての理解を深めた。参加学生達は前日準備、競技ルールや物品配置のシミュレーション、イベント当日の受付、競技運営、子ども達への声かけやサポートなどの運営業務を実践した。



泥んこ運動会当日の様子

### (2) NPO法人かなざわ総合スポーツクラブ(金沢市)との連携プロジェクト

日時：2022年5月1日(日)

場所：金沢星稜大学体育館メイン・サブアリーナ

参加：参加小学生66名、地域関係者10名  
本学学生22名

内容：今まで体験したことのないスポーツ、もっとやってみたいスポーツの体験することから、継続的なスポーツの実施につなげることを目的として多種目の体験会「Let's Start!! スポーツ DE 愛広場2022」を開催した。小学生は6種目(バドミントン、サッカー、陸上競技、キンボール、テニス、チアリーディング)のうち3種目を体験した。募集チラシの作成・配付、予算策定、当日運営までのマネジメント業務全般について、クラブの指導のもと、学生主導で実践した。



陸上競技体験



チアリーディング体験

### (3) NPO法人福光スポーツクラブ(富山県南砺市)との連携プロジェクト

日程：2022年6/4、8/27、10/29、12/3(全て土曜日)

場所：南砺市福光体育館、福光中学校グラウンド

参加：参加者(幼児、小学生)各回20名程度  
地域関係者3名、本学学生22名

内容：様々な運動に取り組み、体を動かすことの楽しさを味わい、運動好きな子どもを育てることを目的として、学生を中心とした子ども達を対象に、大学生と一緒に様々な運動あそびや季節に合わせた外あそびの体験教室を年間通じて4回実施した。8月、10月、12月の3回は教室での活動プログラムの企画及び当日の指導を学生が実施した。



8/27 水あそび



10/29 運動会

**(4)あそびの森かほっくる**  
**【指定管理者：NPO 法人クラブバレット】**  
**(かほく市)との連携プロジェクト**

日程：2023年1月29日(日)  
 場所：あそびの森かほっくる  
 参加：参加小学生36名、地域関係者10名、  
 本学学生名33名  
 内容：この取組みでは「かほっくる冬まつり」の一環として、体を動かす楽しさを伝えることを目的に「KAHOKKURU2023冬の大運動会」の名称で開催した。運動会では「ゆるスポーツ」のくつしたま入れ、障害物競走など5種目を行った。種目内容やルール設定、募集チラシ作成、物品調達、予算管理、人員配置、当日運営などのマネジメント業務を連携団体の助言・指導のもと学生主体で実践した。合わせて「かほっくる冬まつり」全体のイベント運営サポートスタッフとして学生達が参加した。



冬の大運動会



冬まつりのサポート

**(5) NPO 法人もんぜスポーツクラブ**  
**(輪島市)との連携プロジェクト**

日程：2023年2月12日(日)  
 場所：輪島市門前健民体育館  
 参加：参加者  
 地域関係者10名、本学学生11名  
 内容：もんぜんスポーツクラブが主催する「ごちゃまぜ運動会」において、運営サポートスタッフとして学生が参加した。子ども、大学生、障害を持つ方々が一緒になって運動・スポーツを楽しむことを目的とした。



ごちゃまぜ運動会①



ごちゃまぜ運動会②

**成果、結果の考察**

学生達は、イベント参加者の中心であることも達との距離感が良く、場の楽しい雰囲気づくりに貢献していた。イベント企画準備段階では、学生間でのコミュニケーションや地域関係者との意思疎通がうまくいかず、ストレスのかかる場面においても、「目的は何か」を問い続け、当日運営までやり遂げた学生達の努力へ敬意を表するとともに、関係者の方々の温かいご支援への感謝の気持ちを伝えたい。リアルなフィールドでの実践経験により学生達がたくましく成長する姿を何度も目の当たりにした。

**今後の課題、展望**

総合型クラブ、大学の双方が求める点について対話をつづけ、より良いプロジェクトにむけた設計改善と継続実施に取り組んでいきたい。そして、大学卒業後も何かしらの形で、スポーツまちづくりに関わることのできる人材育成を継続していきたい。